

# ヤマザクラ

2021年(令和3年)7月22日(木)発行

## 第 17 回通常総会開催について

理事長 木田章一

第 17 回通常総会が、令和 3 年 6 月 20 日に開催され、原案のとおり承認されたので以下報告します。

昨日、新規事業の子どもの冒険ひろばを開催したところ、幼児から小学 4 年生までの 29 人の参加がありました。

担当の馬場口さんは、自然学校を運営している富士山麓の「ホールアース研究所」で平成 30 年から 3 年間の研修を終えて、今年 4 月から当会の常勤職員として勤務してもらっています。

新型コロナウイルスの影響で、市内企業等の湯ノ岳山荘での行事が中止となっておりますが、本会主催の「ろうきん森の学校」は対策を講じて実施しております。

昨年、湯ノ岳山荘周辺のナラの木がナラ枯れにより枯れてきました。直径 70 cm 以上もある大径木を伐採したため、林内が大分明るくなりました。

皆さんの中で、気づいている方もいると思いますが、これまで更新されていなかった、ホームページとフェイスブックの更新が毎日なされています。昨日の子ども冒険ひろばの申し込みも、フェイスブックを見て申し込んだ方も多くいました。今後も行事等の周知に大いに取り入れていきたいと思えます。

さて、当会が発足して 20 年、NPO を取得して 17 年になります。会員の年齢も年々高くなっており、健康上の理由で会の活動に参加できなくなった方もでてまいりました。どうか怪我や健康には十分気をつけて活動してください。

今年度の第一の課題は 2022 年 4 月に開設予定の自然学校に向けた諸準備とそのための取り組みになります。

終わりに、今年も「安全第一に楽しく」をモットーに活動してください。



## 【森林整備班の活動報告】

### 1 定例活動

今回は、下刈と伐木作業の他に炭窯の窯出し・窯入れ作業を行いました。

(R3.4.1～6.30)

月 / 日	曜日	天候	作業事項	参加者 (名)
4/3	土	晴	下刈り作業	6
7	水	晴	杉苗作業	4
17	土	曇	伐木作業	5
21	水	晴	〃	4
28	水	晴	下刈り作業	7
5/1	土	晴曇	〃	4
12	水	晴	伐木作業	7
15	土	曇	栗園跡地下刈り作業	5
19	水	曇	下刈り作業	5
26	水	晴	〃	6
6/2	水	曇晴	炭窯作業	5
5	土	晴	下刈り作業・炭窯火入れ	6
9	水	晴	〃 ・窯止め	7
16	水	晴	栗園跡地下刈り作業	4
23	水	曇	下刈り作業	6
30	水	曇	〃	6
計				87

### 2 定例整備以外の活動

- (1) ナラ枯れ木を中心に3月までに伐木したもののから薪材の調達を行いました。残材についてはプロによる処分をしました。
- (2) バンガロー東側の里山林整備場所の一部について不用木の伐木と処理を行いました。

### 3 海岸林整備作業

海岸林整備活動は次のとおりです。

(R3.4.1～6.30)

月 / 日	曜日	作業の内容	会員・未来基地	ボランティア	計
4/3	土	草刈り、植樹	9	0	9
18	日	〃	8	0	8
5/15	土	〃	6	0	6
30	日	〃	3	0	3
6/5	土	〃	2	22	24
19	土	草刈り	6	0	6
		計	34	22	56

(松崎記)

## 【農業班の活動報告】

農作業班にとって3～6月は最も忙しい時期を迎えました。作業の内容は次のとおりです。

- 1 種まき、苗作り 3～6月  
ネギ、トマト、タマネギ、ジャガイモ、サトイモ、枝豆、エゴマ、スイカ、カボチャ、サツマイモ等
- 2 苗の移植 5～6月  
サツマイモ、スイカ、カボチャ、ネギ等
- 3 ろうきん森の学校・農作業体験  
参加者 小学生4名 父母3名  
作業内容 ○ サツマイモ苗40本の移植を行う。  
○ エンドウマメの収穫作業
- 4 越冬野菜・早蒔野菜の収穫  
ソラマメ、タマネギ、ラッキョウ等
- 5 スギ苗畑の土壌改良のため大豆1,000本の苗を移植する。



## 【木工班の活動報告】

男性班

男性班は、ムササビやフクロウなどが使用できる大型の巣箱3つと小鳥用巣箱6つを作りました。大型の巣箱2つは既に取り付け済みですが残りは来春の巣作りまでに設置する予定とのことです。

また工具箱や工房前の道路の脇に六地蔵をそれに側溝を塞ぐ蓋を作りました。さらに個々人で屑籠や、植木鉢などを載せる台、キリの衣装箱を製作しました。

## 女性班

女性班は、植木鉢を載せる台や室外機の覆いを作りました。  
また、藁を編んで花器を作りました。



## 【プログラム班の活動報告】

### 1 学校・幼稚園等の支援活動

今期は4月に3回、6月に2回合わせて5回の支援を行いました。5月はコロナの流行の拡大により、学校から活動を当面自粛したいとの連絡があり、当初の計画が延期となりました。

その活動の実績は、別表のとおりです。

学校等における学習支援活動(4/1～6/30)

No.	月 日	学校等名	学年	学習	参加者数	支援者数
1	4月19日(月)	錦東小	3	総合学習	28	7
2	4月26日(月)	平六小	3	総合学習	42	9
3	4月27日(火)	藤原小	3	総合学習	23	8
4	6月10日(木)	平六小	3	総合学習	42	10
5	6月24日(木)	中央台北小	4	総合学習	36	11
	計				171	45

その活動のようすは、次の写真のとおりです。



2 その他の支援活動

4月23日(金)に藤原小3・4年生の遠足(湯の岳丸山公園)の支援を行いました。(支援者6名)

3 班の自主活動

四時・勿来公園散策 4月1日(木)

参加者 12名

竹貫鎌倉岳散策 5月6日(木)

参加者 7名

お茶づくり・ハーブ講座 6月16日(水)

参加者 5名

(佐藤 烈記)

【ろうきん森の学校の報告】

1 令和3年4月18日(日) (天候・晴)

(1) 実施内容

① 自然観察会 ② 自然体験活動 木工クラフト

(2) 参加者数 42名

(3) 実施結果

今回の自然観察会は山荘周辺の山菜の観察を中心に2班編成で実施しました。

自然体験活動は食べられる山菜採りと山菜料理の方法の勉強をしました。

木工クラフトではリールシロホンとカスタネットを作りました。

昼食はタケノコとヤマウコギの混ぜご飯、それにシイタケ、ヨモギ、ワラビ、コゴミそれにタケノコの天ぷらとみそ汁でした。



2 令和3年5月16日(日) (天候・晴)

(1) 実施内容

① 自然観察会 ② 自然体験活動 木工クラフト

(2) 参加者数 41名

(3) 実施結果

自然観察会では気持ちのよい新緑の森でフィトンチッドのシャワーを体全体で浴びながら心地よい時間を過ごしました。

子どもたちは、サツマイモの苗を植える農業体験をしました。会員からたくさんサツマイモができる植え方を教えてもらい、収穫を楽しみにしながら植えていました。

木工クラフトでは、よく飛ぶ竹とんぼを作りました。

昼食はお好み焼きとまぜご飯それに豆腐とワカメの味噌汁でした。



3 令和3年6月20日(日) (天候・雨)

(1) 実施内容

① 自然観察会 ② 自然体験活動 ③ 木工クラフト

(2) 参加者数 44名

(3) 実施結果

今回の自然観察会は「葉っぱ」がテーマです。いろいろな形や大きさ、かたさなど実際に触れながらいろいろな葉っぱを集め自然の不思議を学びました。またオオバコやススキで遊び道具を作りました。

木工クラフトでは、木の枝や木の実を板に張り付けて、壁飾りを作って大満足のような様子でした。

昼食は、ピザにスープそれに焼き芋でした。



(佐藤 烈記)

### 【好間で田植えをしました】

5月23日(日)に、無農薬、無化学肥料で栽培している田で、田植えを行いました。今回は久しぶりに小学4年生と母親の参加がありました。子どもがいると賑やかでいいですね。出来た米は毎月行っている、ろうきん森の学校のご飯で食べます。



### 【子どもの冒険ひろばを始めました】

これは、県内8団体で組織している「子どもが自然と遊ぶ楽校ネット」が福島県より受託している事業で、数年前から実施していましたが、本会としては今年度より参加しました。

6月から2月まで計20回実施する予定です。

6月の子どもの参加者は次のとおりです。

月 日	天候	午 前	午 後	計	活動内容
6月19日	雨	18	11	29名	木工工作(木の枝貼り付け)
6月26日	晴	26	11	37名	虫採り、木登り



### 【防火訓練実施結果について】

(消防法により年2回実施するようになっていきます)

本年も、5月18日午前9時30分から湯ノ岳山荘内にて木田理事長外4名の管理人が参加し、山荘内厨房ガスを使用中ガス台脇に置いた布巾に燃え移り出火した想定で、消火訓練内容等の打合せをして、各人の役割分担をきめ、消火活動、消防署通報、宿泊者の誘導等実施した。消防署から訓練用の水圧消火器を2台借用し、発火した目標場所を決めて消火活動をした。最後に管理人から、「宿泊者には、その都度避難する際の非常口の説明や宿泊施設からの通路の夜間点灯の実施」の再確認の説明があり、「自分の所は自分で守る」と言う心構えで山荘を守るため、会員の方も火気に注意し、火事を出さないように御協力をお願いします。



(防火管理者 松本 學)

### ホトケノザの花は10月？

昨年、環境企画課で行っている「いわき市生きもの調査」に参加しました。

時期は10月、ふだん散歩しているコース沿いにドングリのなる木やエノコログサ、イヌタデ、ヘクソカズラ、セイタカアワダチソウ、オオツズラフジ、タコノアシなどの植物とカマキリ、テントウムシ、カワラハンミョウ等の昆虫それにハクチョウ、ガビチョウ、ツバメなどの鳥類です。

動かない植物、特にエノコログサ、イヌタデ、セイタカアワダチソウはセットでよく見つけることができました。

この調査の中で、ある日湯本川と藤原川の合流点の草むらと左岸堤防の間になんとホトケノザが一株、花を開いていました。一瞬まさかと思いましたが、しげしげと眺めても間違いありません。「ホトケノザは春の花」と図鑑で覚えている人は、この実物を見ても信じられないかもしれません。我が家の小さな庭にも春にはホトケノザとヒメオドリコソウが少しだけ咲きますが、今は咲いていません。

そんなことがあって一月後、お決まりの常磐白鳥町コースの稲刈りが終わった田んぼや畑の脇を散歩していたとき、南向きの畑脇にホトケノザが群生し、一斉に花を拵げているのに出会いました。これを見たら、ホトケノザが春の花なんて信じられません。

以前から秋に開花するツツジをあちこちで見かけていましたが、菊のように昼夜の長さによって開花時期が調節されているもの、また桜のようにアブシジン酸の量が開花を調節しているものもありますが、ホトケノザの場合はどのような理屈があるのでしょうか。

わからないから面白い。わかってしまえばつまらない。昔、「事実は小説よりも奇なり」という言葉で番組を始めるアナウンサーがいましたが、実在する自然は自然の解説書を超越しています。

そういえば我が家の北向きの玄関脇のシャリンバイは11月から12月にかけて白い花が咲いて、かすかにいい匂いがしています。その花のそばには、初夏に咲いた花からできた1cm弱の黒紫色の実がたくさんついています。

(佐藤 烈記)

(発行) NPO 法人いわきの森に親しむ会

(発行責任者) 木田章一

(事務局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳2  
湯ノ岳山荘内

TEL/FAX 0246-44-3273

E-mail: yunodake@gray.plala.or.jp

HP: <http://iwaki-mori.jimdo.com/>